

道路アセットマネジメントプラットフォーム
第8回国内支援委員会

直近のRAMP活動報告について

活動目標

開発途上国における道路インフラ維持管理の課題解決に向け、国内外の知見を集約し、以下のような取り組みを通じて、開発途上国での道路アセットマネジメントの定着に向けた道路行政人材の育成を目指します。

01

道路橋梁維持管理技術協力プロジェクト

- マニュアル類のローカライズ、制度化支援
- パイロットワークや現地デモによる試行的導入
- PDCAサイクルの定着
→ 現地における産官学連携の基盤を構築

02

道路交通分野の課題別研修

- 先端・高度技術の知見習得
→ 本邦の技術体系(産官学)との交流
- 参加国間での情報共有
→ 相互協力環境の醸成

03

長期留学生の受け入れ

- 基礎～高度技術の習得
- 大学や卒業生のネットワークを構築
→ 卒業後は現地との橋渡し役、長期的には道路AMのリーダーとして活動を期待

04 その他の活動

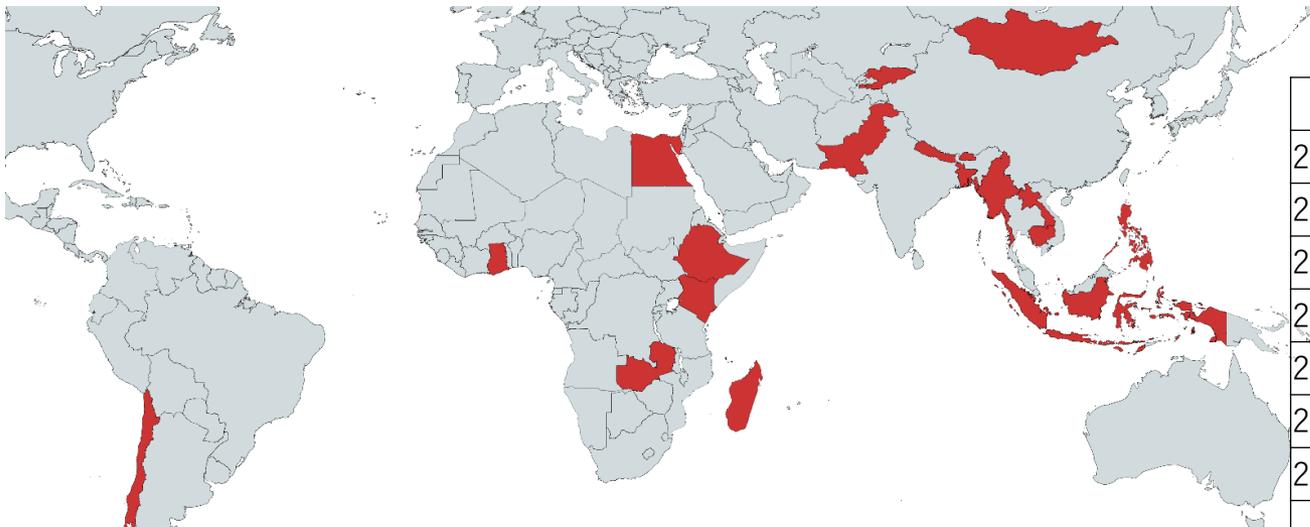
- 民間技術活用
- 大学連携
- 道路橋梁維持管理に関する成熟度評価
- 地方自治体の取組紹介
- 日本人技術者の技術研鑽

実施中の課題別研修概況

研修コース名 (参加者数)	24年度参加国名
道路アセットマネジメント(26名)	(A)コートジボワール、フィジー、リベリア、モザンビーク、ナイジェリア、PNG、ソマリア、タジキスタン、ウガンダ、(長期研修員:モンゴル、ネパール、マダガスカル) (B)エジプト、エルサルバドル、エチオピア、インドネシア、ラオス、フィリピン、東ティモール、ザンビア、(長期研修員:ガーナ)
橋梁アセットマネジメント(11名)	バングラデシュ、カンボジア、コンゴ民、フィジー、ラオス、ニカラグア、フィリピン、東ティモール、トーゴ、ウガンダ、ザンビア
道路維持管理(28名)	(A)カザフスタン、キルギス、タジキスタン、トルクメニスタン、ウクライナ、ウズベキスタン、東ティモール (B)カンボジア、ラオス、ネパール、フィリピン (C)フィジー、マーシャル諸島、PNG、サモア (D)エジプト、モザンビーク、ウガンダ、ザンビア (E)ベナン、ブルキナファソ、カメルーン、コンゴ、コートジボワール、ジブチ、ギアナ、トーゴ
橋梁維持管理(技術者向け)(13名)	バングラデシュ、ジブチ、エチオピア、ガーナ、インドネシア、ニカラグア、PNG、フィリピン、タジキスタン、ウガンダ、ウクライナ、ベトナム

RAMP長期研修員事業

- 2018年度より受入れを開始。2024年12月時点で**18カ国**、**計83名**の長期研修員を受入れ。(現在在学中の学生は42名)



<年度別受入れ人数実績>

	修士課程	博士課程	合計
2018年度	2	2	4
2019年度	4	1	5
2020年度	10	5	15
2021年度	4	4	8
2022年度	12	4	16
2023年度	12	11	23
2024年度	7	5	12
	51	32	83

<留学生セミナー>

(直近の開催状況)2025年2月名古屋大学、NEXCO中日本、N2U Bridge、E-MAC技術研修センター、建設現場視察





橋の科学館視察



明石海峡大橋淡路側主塔視察



阪神高速道路震災資料保管庫見学

留学生の声: 明石海峡大橋の施工段階で重大な事故が発生しなかったことは驚異的である。
また、開通から現在まで、メンテナンスにより良好な状況を維持していることが理解できた。

日時:2024年9月3日(火)~9月4日(水)

参加者:対象研修員48名中32名

目的:日本における道路維持管理に係る技術や取り組みへの理解を深めるとともに、①道路維持管理分野における実践的な内容を学ぶ機会や国内のナレッジを共有する機会を創出すること、及び②日本における道路維持管理に係る技術や取り組みへの理解を深めることを目的とする



留学生による研究概要の発表



グループディスカッションの様子



北大実験室の視察

留学生の声

- 類似の研究をしている研修員と繋がりができた。意見交換を通して今後の研究の改善が期待できる。
- 北海道大学の土木工学科の設備に驚いた。本当に多くの先進的な装置があった。

2025年春 留学生セミナー（名古屋）

日時：2025年2月18日（火）～2月19日（水）

参加者：対象研修員40名中30名

内容：NEXCO中日本の会社概要・高速道路O&Mについての講義、N2U Bridge（名古屋大学）での研修、大須ヶ洞第三橋建設現場（NEXCO中日本）視察、E-MAC技術研修センターでの研修



NEXCO中日本の概要説明



N2U Bridge研修で打音点検体験



大須ヶ洞第三橋建設現場の視察

留学生の声

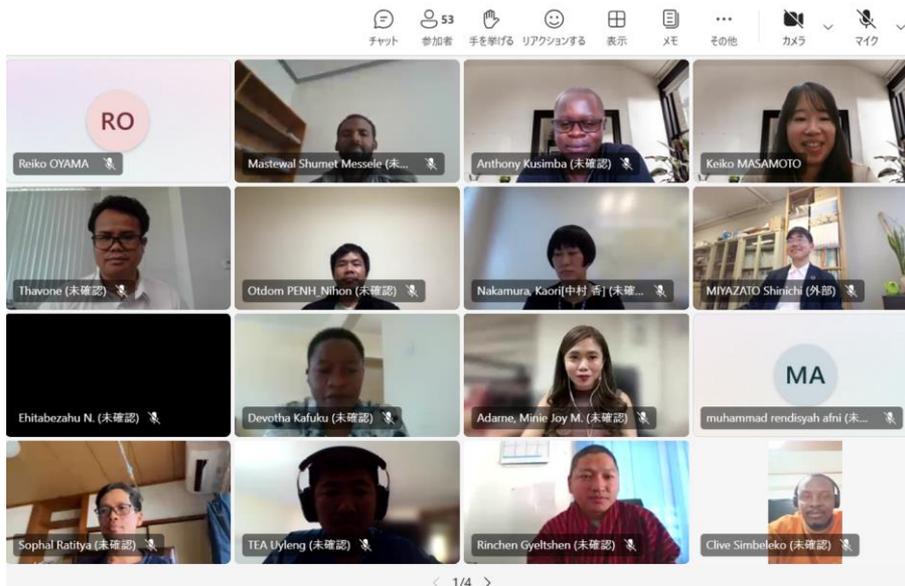
- NEXCO中日本の講義ではインフラの初期投資から運用までがどのように管理されているか学ぶことができた。
- N2U Bridgeの研修はこれまで学んできたことの実践的な側面が浮き彫りになる機会であった。
- 大須ヶ洞第三橋における工事建設は大変実用的で、自国での自身の仕事と関連付けやすかった。

第1回 RAMP修了生アルムナイセミナーの開催

- 2025年2月、RAMP修了生アルムナイセミナーをオンラインで開催
- 金沢工業大学 宮里教授からの講義、修了生2名(ラオス、ケニア)から留学後のキャリアパスや所属機関での活動状況を発表
- 当日はRAMP修了生、在学生、入学予定者から53名ほどが参加
(特にRAMP修了生43名中、29名が事前参加登録する等、多くの修了生が参加)

本セミナーの目的

- 道路アセットマネジメント分野における最新の技術や知見の共有
- RAMP修了生とのネットワークの強化



セミナー参加者



RAMP修了生 Dr. Thavone Khounsida(ラオス)の発表の様子

第16回技術セミナーの開催

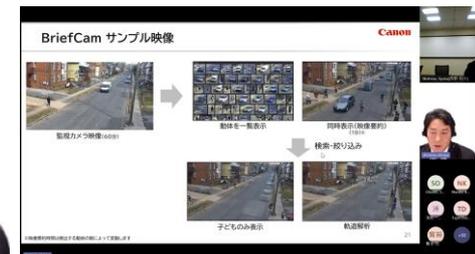
- 2025年3月、第16回技術セミナーをオンラインで開催。
- 本邦企業3社から最先端技術の紹介、JICA専門家1名から活動報告を実施。**
- 当日は、約60名の本邦企業関係者が参加。**

(技術セミナー概要)

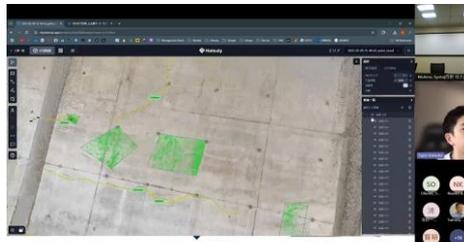
- 技術プロジェクトでの試行的な本邦技術実装およびビジネス展開の機会創出を目的として開催。
- 1年に1回程度不定期に開催し、土木学会認定CPDプログラム。



SESSION 1 「インフラモニタリングに関する国内外動向調査」
株式会社 パスコ



SESSION 3 「道路監視におけるキャノンのネットワークカメラソリューション」
キヤノン株式会社



SESSION 2 「3Dデータを用いたデジタルアセットマネジメント」
DataLabs 株式会社

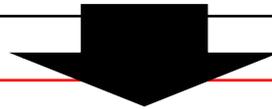


SESSION 4 「インドネシアにおける道路橋梁維持管理の現状」
JICAインドネシア専門家

第7回国内支援委員会

2023年
12月18日

- ③ RAMP長期研修員事業（フォローアップ、効果確認）
- ④ 課題別研修



2025年
4月8日

第8回国内支援委員会

今回

- ✓ RAMPの今後の活動方針や事業戦略の発表



2025年
4月（予定）～

更なるRAMP活動の展開・深化